

高等部（知的障害教育部門）

『キャップ仕分け』

ねらい

- ・仕分け（弁別）教材で、握る・離す・注視を促す。

使い方

キャップを生徒に手渡し、同じ色・マークに注目させながら仕分けさせる。



『ボールペン組み立て・解体』

ねらい

- ・手順通りにボールペンの組み立て、解体を行うことができる。
- ・同じ種類の部品を同じ入れ物に集めることで、規則性をもたせる。

使い方

- ① 部品を入れ物から取り出し、組み立てを行う。

※組み立て終了後は解体し、各部品をそれぞれ決められた入れ物に振り分ける。



『数のマトリックス表』

ねらい

- ・1～5までの数字と数量を対応させる。
- ・規則性を理解する。

使い方

- ① 初めは数枚見本として並べておく。
- ② 数字に対応させて、数字の横にカードを並べていく。



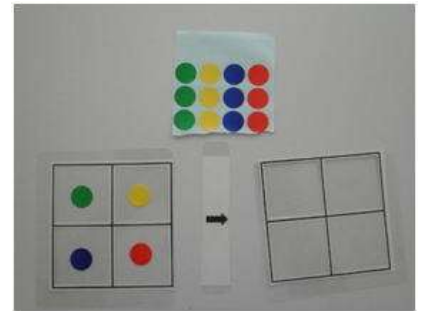
『同じようにシールを貼ろう!』

ねらい

- ・ラミネートされているため、シールを剥がしやすいので修正やくり返し使用可能。また、透明なので重ねて正誤が分かる。
- ・枠や色を増減することで、難易度を変えることができる。

使い方

- ①教師が見本となるシールを貼る。
- ②見本を良く見て、生徒がシールを貼る
- ③貼り終わったら、見本に重ねるようにして答え合わせを行う。



『輪ゴムひっかけ』

ねらい

- ・輪ゴムがポケットに入っているため、取り出す際両手の指先を使うことになり手先の巧緻性の向上をねらうことができる。



- ・ポケットから取り出す際、慎重にやらないと破れてしまうので必然的に丁寧さが求められる。

使い方

- ① ポケットから輪ゴムを取り出し、同じ色の画鋲に引っ掛ける。

『数のフラッシュカード(1~5)』

ねらい

- ・1~5までの数について、いろいろなパターンで視覚的に数を量で判断する。

使い方

- ① 4cm 平方位の厚紙で、いろいろなパターンのフラッシュカードを作り、瞬時に見た数を答えさせて、1~5までの分類容器に分類させる。



『なかまわけ』

ねらい

- 物の名前や属性についての理解を深める
- 取り組む種類や数によって、難易度を変えることができる。

使い方

- ① 1つの容器に絵カードをまとめておき、仲間ごとに分類していく。

